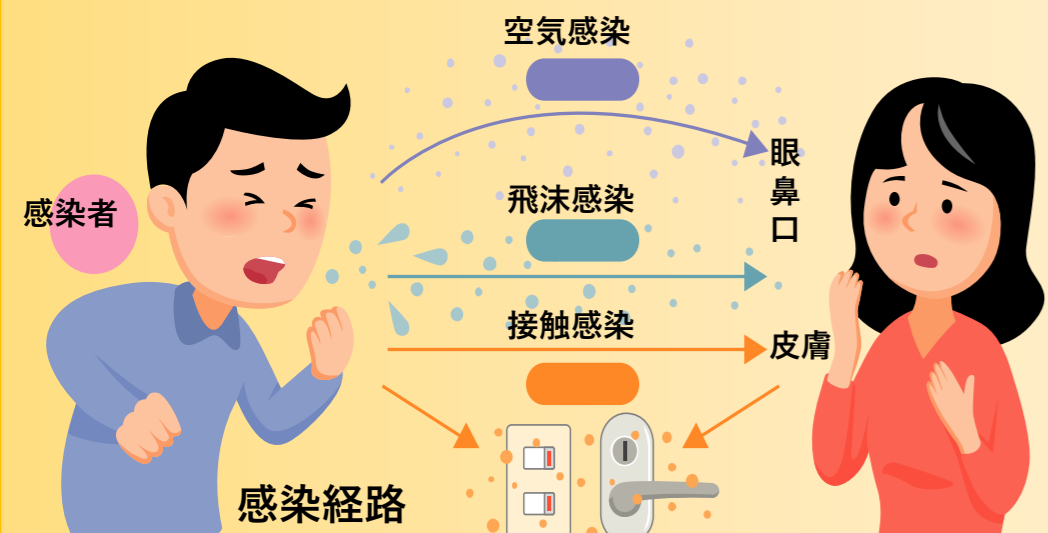


# 事業者が感染症の広がりを防ぎ、建物を安全な状態で使うために

- 清掃担当者自身の安全を確保しつつ行う建物内の消毒を伴う清掃の方法と注意点をまとめました
- (感染者が発生した場合ではなく) 特殊事例を含む日常の消毒作業です
- 物の表面に付着した病原体が手指を介して感染するのを防ぐための清掃と消毒の方法を示します

▼ 感染症の種類や経路、感染源ごとに有効な消毒剤の種類とつくり方などのくわしい内容は下記URLを ▼



## ポイント

- ・ 流行している感染症の原因となる病原体が何かを知る
- ・ どのような経路で感染するのかを知る  
→ 病原体の特性に合った消毒作業を行う

\* 接触感染の場合は清掃・消毒は特に有効です

\* 全てのウイルスがアルコールで消毒できるわけではないことに注意!

多くの食中毒菌、新型コロナウイルスは下の3つの消毒剤で消毒できます  
ノロウイルスはエンベロップを持たないので、塩素系消毒剤で消毒します

## 清掃と消毒の準備

清掃

消毒

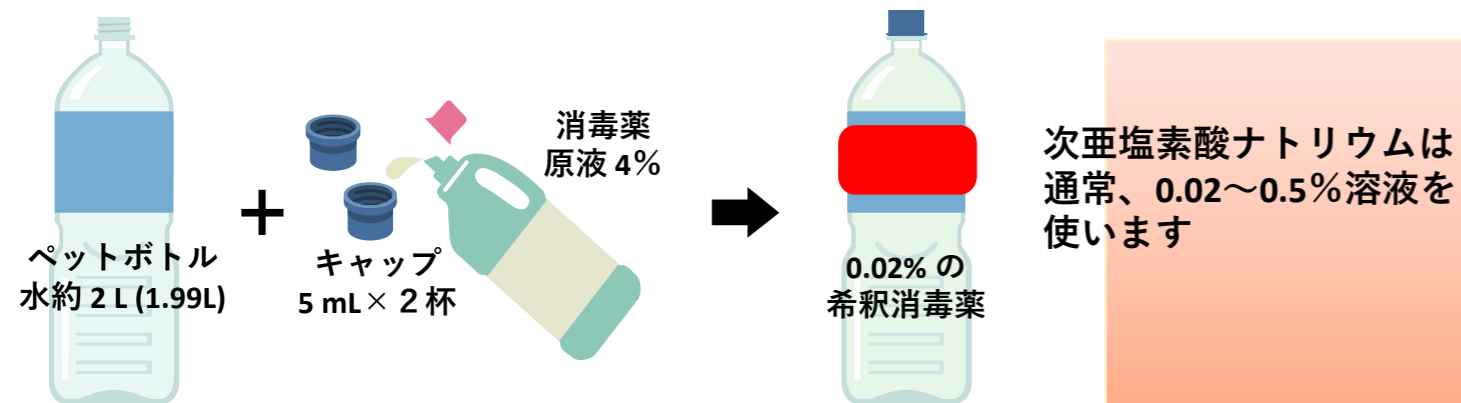
## 建物内部の消毒のガイドライン

パンフレット I

一般的な環境において消毒を行う場合に、病原体への適用範囲が広く、比較的安全で扱いやすい消毒剤として次の3種類4つがあります。

- アルコール類：エタノールなど
- 塩素系消毒剤：次亜塩素酸ナトリウム（商品例：ハイター、ブリーチ）など  
：次亜塩素酸水
- 第四級アンモニウム塩類：塩化ベンザルコニウムなど

病原体の種類により消毒剤の効果が異なり、また消毒の対象により使用する濃度が異なります  
特に次亜塩素酸水に強酸性、弱酸性及び微酸性の種類があり、様々な製品が販売されています



▶ 消毒する場所の材質により使用できない場合があります  
目的に合わせて使用する製品を決めてください ▶

場所による消毒 部位	消毒する場所の材質による消毒剤の選択			
	金属部分	非金属部分 (プラスチック等)	木部	布
アルコール系消毒剤	○	△	○	○
塩素系消毒剤	×	○	△	△
第四級アンモニウム塩類	○	○	○	○



令和4年度厚生労働科学研究費補助金（健康安全・危機管理対策総合研究事業）  
感染症対策を踏まえた建物内部の適切な清掃手法等の検証及び確立のための研究  
研究代表者 国立保健医療科学院 阪東美智子

『建物内部の消毒のガイドライン』

[https://www.niph.go.jp/soshiki/09seikatsu/arch/Bando\\_20230725\\_Guideline01.pdf](https://www.niph.go.jp/soshiki/09seikatsu/arch/Bando_20230725_Guideline01.pdf)



ポイント

- ・ 通常の清掃・消毒は1日1回で十分です
- ・ 消毒剤の空間噴霧は推奨できません

通常、1日1回清掃することで病原体を取り除くことができます。多くの人が入り出す場所では、清掃の回数を増やしてください。公共の場所では感染者がいる可能性は低いことから、消毒は1日1回で十分とされています。消毒剤を消毒する場所に向けて噴霧することは吸い込む危険性や消毒の効果が不十分であることから、消毒剤の説明書に噴霧によることが書かれていない限り、推奨できません。



繰り返し使う清掃用具は、洗浄、消毒、すすぎ、乾燥させます。塩素系消毒液で消毒する場合、0.1%で30～60分間つけます。熱水で消毒する場合、80℃で10分間つけます。清掃用具は定期的に交換します。水拭きが必要ない洗剤でも定期的に水拭きして洗剤を取り除いてください。



清拭の際には

- ① 奥から手前に拭く
- ② 上から下に向けて拭く
- ③ 拭き残しが無いように重なるように、埃をたてないように、一方向に、静かに拭きます。

清掃・消毒の前には十分な換気を！

▼ 頻繁に出入りする場所・多くの人に触れる場所・汚れが付きやすい場所

エスカレーター手すり	ドアの取っ手	照明スイッチ	テーブルと椅子
エレベーターボタン	階段手すり	窓の取っ手	空調スイッチ

清掃してから消毒することが基本です

消毒剤は雑巾等の布に浸み込ませて



清掃 消毒  
吐しゃ物や汚物、血液などに汚染された場所

### 吐しゃ物等の発見と通報

- ・現場を確認し、状況を責任者に伝え、指示を仰ぎます。
- ・応援を要請します。
- ・病原体が飛び散っている可能性があるため、換気します。



◀ 防護具を着ける場合  
エプロン、マスク、フェイスシールドの順番で着けていき、最後に手袋を着用します。

◀ 防護具を外す場合  
汚れた物から外していくことを基本に。



▶ 作業終了後は  
クロスや雑巾はビニール袋に入れて廃棄するか、消毒してから洗剤を使って洗浄し、乾燥させます。  
マスクと使い捨て手袋はビニール袋に入れて廃棄します。手指を石鹸で十分に洗い、流水で洗い流します。

### 血液、体液、痰を見つけたとき／吐しゃ物、汚物があるとき

- ・ペーパータオルか布で飛び散らないよう十分に拭き取ります。
- ・ペーパータオル/布で覆い、消毒液をかけて約10分間放置します。
- ・ペーパータオルごと外側から内側に寄せ集め、ビニール袋を2重にセットしたバケツに入れます。
  - ・半径2～3mの範囲をペーパータオルで覆い、消毒液を十分かけ、10分間放置します。
  - ・外側から内側に向けてペーパータオルで拭き取り中央に集め、2枚目のビニール袋に捨てます。

### 「片づけ」のとき

ビニール袋を閉じる際に病原体が飛び出す危険性があるため、中の空気を勢いよく抜かないように。

